

令和6年度

教育行政執行方針

令和6年3月

当別町教育委員会

はじめに、この度の能登半島地震により犠牲になられた方々に、謹んで哀悼の意を表しますとともに、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

被災された地域の子どもたちが安心して学べる学校環境の一日も早い復興をお祈り申し上げます。

それでは、令和6年第1回当別町議会定例会の開会にあたり、教育行政の執行に関する基本方針、並びに令和6年度予算に基づく主な施策について申し上げます。

【はじめに】

『未来を拓く9年間』当別町小中一貫教育」

町の宝である子どもたちが、自らの未来を拓き、やがては町の未来を拓く人材として育つことへの願いを込めて昨年このキャッチフレーズを掲げました。

この願いのもと、町内外の教育力を結集し家庭、学校、地域が組織的で魅力的な教育活動をさらに力強く推進してまいります。

【基本方針】

幼保との連携を充実し、9年間切れ目のない一貫教育に繋げることによってAIの活用が急激に進む社会を人間らしく生き抜くための知性と感性を育てる教育をめざすとともに町民がより幸せを感じることのできる生涯学習の充実に努めてまいります。

特に学校教育では、子どもたちの学力向上と学びの保障に重点を置き、授業

の質を向上させる「授業改革」に取り組み、ICT を効果的に活用し、児童生徒の学ぶ意欲を引き出す「主体的・対話的で深い学び」の実践に努めてまいります。

これより、新年度における具体的な施策についてご説明いたします。

【施策の展開】

1 学力向上

施策の一つ目、学力向上については、個別最適な学びを図るため、「ICT 支援員による巡回支援」や「町内の全学校共通の ICT 活用目標」の設定、「授業や家庭学習における AI ドリルの活用」など ICT を効果的に活用します。

また、教育課程を通じた資質・能力の確実な育成と定着のため、「学力向上推進講師」や「支援員・介助員」の独自配置を継続し、習熟度に合わせた学習支援を行ってまいります。

次に、本町の独自教科である「とうべつ未来学」では、地域資源を活用した「ふるさと教育」や当別町出身の活躍者から学ぶ「キャリア教育」など、子ども達の感性を育て世界でたくましく活躍できる人材を育成する取組みを進めてまいります。

また、コロナ禍以降、子どもたちの体力の低下が顕著に表れており、今後体力の向上へ向けては、運動やスポーツの楽しさや喜びを味わう機会を増やし、生涯にわたって心身の健康の保持増進、豊かなスポーツライフを実現する力を身につけることができるよう、引き続き取組みを進めてまいります。

2 地域と共にある学校・生徒指導

施策の2つ目、地域と共にある学校・生徒指導については、いじめ防止や不登校等、多様化する児童生徒への指導と地域に応援される「地域と共にある学校」の実現のために、コミュニティスクール（CS）や地域学校協働本部の更なる活用を進め、学校と地域の連携を図ります。

また地域部活動の導入について、当別町の実状にあった仕組みについて協議してまいります。

次に不登校、いじめ問題については、令和5年度から始めたスクールソーシャルワーカーによる各学校の巡回指導と併せて、スクールカウンセラーによる相談体制の充実を図ります。

さらに、日常の学校生活からは把握しきれない児童生徒の心理的感情を心理アンケートの結果から導き出し、不登校やいじめ被害の可能性の高い子どもの早期発見、未然防止を図るためのアンケートツール「WEBQU」を導入します。

次に現在、不登校の児童生徒支援のための施設として白樺コミュニティーセンター内にある校外の「適応指導教室」を「教育支援センター」と改め、不登校支援の強化を図るとともに、地域・学校とつなぎ社会的自立を促す居場所とし、新たに西当別コミュニティーセンター内にも開設します。

さらに、学校へ行くことができても、教室に入ることが難しい児童生徒への居場所として各学校内にも「校内教育支援センター」を開設し、児童生徒の多

様な学びの場の確保と将来、社会的に自立した生活が送れるよう取り組んでまいります。

次に学校給食では、「地元食材の活用促進」や「姉妹都市の食材」を使った「とべっこランチ」など、子どもたちが今まで以上に笑顔になる給食の提供と「食事の重要性や栄養バランス、食文化等」といった食に対する理解を深めるべく地域食材を生かした食育授業の充実を図ります。

3 社会教育

3つ目は社会教育の施策です。

子ども達をはじめ町民がより幸せを感じることでできる生涯学習社会の実現を基本方針とし、「生涯学習プログラム」では、文化公演事業を新たに実施し、多くの町民が、音楽、演劇等の本格的な舞台芸術に触れる機会をつくり文化振興による豊かなまちづくりに繋がります。

また健康でいきいきと暮らし、生涯を通じた学習の機会づくりとして「ことぶき大学」の開催、「当別歴史・文化プロジェクト」による古文書解析の実施、総合型地域スポーツクラブなど地域の団体との連携強化など多様なメニューの充実に努めます。

次に、「児童生徒支援の充実」については、学校における学習支援として地域人材の活用を促進するため、地域学校協働本部の更なる活用を図り、

「放課後学習会」、「土曜教室・地域巡検」による子どもの学びの場の創出を進めます。また、子どもたちのスポーツ・文化活動に対する支援にも継続して取り組んでまいります。

読書活動推進のための取り組みについては、「子ども読書推進計画」に基づいた子どもの読書活動推進として、図書館と学校図書館との連携をより深めるとともに、多くの方が読書に触れる機会の充実に図ります。

4 施設整備等

最後に施設の整備についてです。

学校設備については、現在進めている「西当別小学校・中学校のエアコン設置工事」に加え、「とうべつ学園」へのエアコン設置に向けた実施設計を行います。

また、おいしい給食を提供するために有効なスチームコンベクションオーブンを改修し、学校給食の充実に図ります。

社会教育施設については、「西当別コミュニティーセンター屋上防水改修工事」を実施してまいります。

【おわりに】

以上、令和6年度の「教育行政の執行に関する基本方針」、並びに予算に基づく主な施策についてご説明申し上げました。

『『未来を拓く9年間』当別町小中一貫教育』の成果を着実に積み上げて参りますので、町民の皆様、議員各位のご理解とご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。